

学会アンケート集計結果

		Q1 地域包括ケアに直接関わった経験がありますか。		Q2 地域包括ケアを進めるにあたって、どのようなことを知りたいですか。			
		ない	ある	1.医療・介護・福祉などの制度	2.自らの職種としての専門性	3.他の職種の業務内容	4.その他
1.医師	5	2	3	2	0	0	2
2.歯科医師	1	0	1	1	0	0	0
3.薬剤師	6	0	6	2	1	4	0
4.保健師 看護師	31	15	16	7	8	4	2
5.管理栄養士 栄養士 調理師	8	5	3	0	2	1	0
6.歯科衛生士 歯科技工士	13	12	1	1	0	0	0
7.理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	19	4	15	10	7	3	1
8.柔道整復士 鍼灸師 マッサージ師	0	0	0	0	0	0	0
9.社会福祉士 精神保健福祉士 医療ソーシャルワーカー	30	11	18	5	6	9	2
10.介護福祉士 ホームヘルパー 介護職	33	24	9	4	6	2	2
11.ケアマネジャー	21	7	14	8	6	7	1
12.行政職員	8	5	3	0	1	0	2
13.弁護士 司法書士 行政書士	0	0	0	0	0	0	0
14.学生 大学院生	3	2	1	1	1	1	0
15.企業その他	16	12	4	2	0	1	1
合 計	194	99	94	43	38	32	13

自由記述

- ・利用者サイドに立った地域包括ケアシステムの実現。一般の人は知らないことが多い。
- ・医療と介護の連携が必要。
- ・今後の地域包括ケアシステムに少しでも参加し、協力できたらと思います。
- ・産業界、地域活動(まちづくりなど)の人たちが自然体で関わる土壌づくり。
- ・昨年度は地域を舞台に具体的な多職種の連携がよくわかった。次回以降も昨年度のような取組事例を聞いてみたい。
- ・多職種連携のための具体的な実践
- ・回復期、地域包括期を抱える病院に勤務しているが、PT、OTともマッサージで時間を稼いでいる。武久先生の総合リハビリテーション専門職に共感。
- ・訪問リハビリの地域包括ケアにおける可能性
- ・顔の見える関係づくりのノウハウ
- ・住民の主体性をどう育てていくか。
- ・全てのスタッフがそろってはいないので…。その方にとって何が必要かを考えることが重要と思う。
- ・地域の主体である一般県民の参加、せめて民生委員とか地域の代表の参加があってもよいと思う。公開講座とか。
- ・国や自治体、保険法人などから指導的なことがきた。(返戻など)具体例を知りたい。朝の受付混みすぎだと思えます。
- ・文化の担い手も地域包括ケアに必要では？
- ・連携事例
- ・研修・企画などで取り組んでいますが、地域住民の意識を高めることも大切だと思います。
- ・人材が協働することで今後の問題を解決できるよう意識を高く持っていききたい。協賛の企業の物色をもっとPR希望。
- ・地域消滅ケアシステムの発想はよい(重要)と思う。
- ・他職種・年齢別における啓発の仕方。興味・関心への導入方法。
- ・限かい地区での相談業務などの在り方について知りたい。
- ・他職種連携会を定期的に行っている地域があるのであれば、会合の頻度や時間帯を知りたい。
- ・多職種連携での事例(参考になる)の実践。住民をどのように巻き込んでいくか。
- ・医療・介護・福祉の連携についての発表などあればいいと思う。